



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 橋本 修

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1022 回	53 名	52 名	45 名	—	86.54%
前々回 1020 回	53 名	52 名	47 名	0 名	90.38%

<点 鐘> 会長 永家 将嗣
<ロータリーソング> 奉仕の理想
高山中央ロータリークラブ職業倫理基準

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは、12日のIM・18～19日の地区大会とめまぐるしい事業の中、参加されました皆様大変ご苦労様でした。後ほど発表される方はどうぞよろしくお祈りします。

前回は地区大会についてお話ししましたので、今回はIM（インターミーティング）についてお話ししたいと思います。

IMはR I 公式行事ではなくガバナーの専権事項ですので、開催するかしないかはガバナーの判断です。開催する場合はガバナー補佐が中心になって各グループ毎に開催されます。2630地区は三重県が6グループ、岐阜県が6グループの12グループから構成され当地区は高山3クラブ下呂・美濃加茂・可児・可茂・加茂東の8つのクラブからなる濃飛グループになります。今年度は可児クラブの兼松ガバナー補佐です。

このIMは近くのクラブが集まり親睦と知識を広げ情報交換を行う事が大きな目的です。

そして決議や決定はありませんのでクラブからの出席人数の制限はありません。

出席されればメイクアップになります。

今年度はこの地区大会が終わるまでに集中して対外事業を行ってきました。

8月の「ロータリーデー」に始まり「あんどん作り」「キャリア教育を考える会」「出前講座」「高山3クラブ合同ガバナー公式訪問例会」「IM」「地区大会」などです。後はクラブ内の例会をこなしながら次年度との協議を進め長期計画を進めていき、クラブ内の充実に努めていきます。地区の大きな流れは11月頃から次年度が研修を始め動き始めます。今年度の高山中央ロータリークラブもこの流れに合わせました。

幹事を始め会員の皆様には大変お忙しい思いをしてもらい大変心苦しい思いではありますが、残り8カ月は淡々とクラブ運営を進めていきますのでよろしくお祈りいたします。

<幹事報告> 幹事 高原 清人

◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より

・インターアクト韓国派遣報告書

○ロータリー米山記念奨学会より

・豆辞典

・手引書と寄付マニュアル

・2013年度事業報告書と決算報告

・事業報告書統計・資料編

○伊勢度会ロータリークラブより

・いい夫婦の日親睦例会開催のご案内

日時：11月22日（土）12：30～

*ご希望の方は詳細をお尋ねください。

○可茂ロータリークラブより

・IM参加のお礼状

○高山ロータリークラブより

・ニリンソウ保全のリーフレット

・例会変更のお知らせ

11月6日（木）18：30～

紅葉同伴例会 ホテルアソシア高山リゾート

11月27日（木）休会 定款により

<高山市青少年育成市民会議より>

・「子ども・若者育成支援強調月間」における街頭啓発活動出役のご依頼

<本日のプログラム> IM・地区大会報告

《IM報告》

長瀬 栄二郎

皆さん、こんにちは。

10月12日のIMに参加してまいりましたので、ご報告を申し上げます。

プログラムとしては、まず石垣ガバナーより本年度の方針についてお話しがありました。

その後、各クラブからの事業報告があり、各クラブの取り組み状況は大変参考になるものでした。しかしながら、設営側の時間設



は短縮されたこと、また、各クラブからの事業報告が、各クラブの取り組み状況は大変参考になるものでした。しかしながら、設営側の時間設

定が短すぎたのか、やや中途半端な発表となっていた印象で、もう少し、報告の時間がしっかりあると各クラブともに参考になるのではないかと思います。

続いて、「千の音色でつなぐ絆」としてプログラム公演がありました。東北震災の被災地にあった流木を使って制作されたヴァイオリンを、千人の奏者が演奏でつなぐというもので、演奏に先立って企画者から映像を交えた趣旨説明がありました。背面に「奇跡の一本松」の描かれたヴァイオリンを弾き繋ぐことで、東北震災を風化させず、被害者の鎮魂を願うという素晴らしい企画によるもので、参加者はそれぞれにヴァイオリンの音色に耳を傾けていました。懇親会ではアトラクションも用意され、各クラブの皆さまと懇親・友好を深められる良い時間となりました。

周 信夫

美濃加茂で行われた IM に参加しました。濃飛グループの 8 クラブの相互理解と親睦と理解しています。8 クラブの活動内容報告を聞き、それぞれ皆さん頑張っている事を実感しました。



その後、東日本大震災の記憶を風化させない、亡くなった方への鎮魂を込めて震災で生じた流木からヴァイオリンを作成し、千人のバイオリストによって引き継がれる「Tsunami 千の音色でつなぐ絆プロジェクト」を拝聴いたしました。ヴァイオリンの音色を通じて被災地の皆さんの笑顔が戻る事を祈らずにはられません。震災から 3 年が経ちましたが、まだ大変な被災地の復興を願い募金をいたしました。

《地区大会報告》

田中 雅昭

いよいよ劔田ガバナーノミニが採択され、2 年後のガバナー年度へ向けてスタート致しました。先般配布させて頂いた地区大会役員組織表によって、一人一人の役割が明確化されてきます。我が中央ロータリーの団結力により必ずや地区大会を成功させるため、様々な情報を取り入れながら魅力ある、意義ある地区大会を目指しましょう。すでに文化会館は手配され、また記念講演者への依頼もすでに進めております。2 年先の大会に向けて皆様方のあふれる発想のもと、25 周年事業を含めて大会を成功させましょう。

来年度は 11 月 21 日、22 日です。全員登録全員参加で予定してください。

すべては自己に忠実、他人に誠実を心し、事業や社会生活において奉仕の理念を実践しましょう。



清水 幸平

10 月 19 日(日)に、地区大会に出席しました。私は記念講演について報告するよう指示をいただきました。当日の記念講演は、東海旅客鉄道(株)の名誉会長の葛西敬之氏でした。



まずは JR 東海の大きな事業でありますリニア中央新幹線に関して、「社運、国運をかけて取り組む。鉄道を通して国を支えていきたい」と話されました。

記念講演のテーマは、「21 世紀に求められるリーダーとは」です。どんなお話が伺えるか期待をしました。

まずは、18 世紀から 20 世紀の国際的な歴史の流れを話されました。第二次大戦の後の、米ソの冷戦状態は、核の抑止力による戦争のない平和な時代であった。しかし、21 世紀は、太平洋を囲んで、米ソおよび中国が対峙する時代であり、日本は海洋国家として大陸からの脅威にどう対応していくかが重要である。

戦後の重要な決断として、2 つを述べられた。一つ目は、吉田首相のサンフランシスコ条約の締結です。日本は主権を回復しました。二つ目は、岸内閣の安保条約の締結です。アメリカと同盟を結ぶことにより、20 世紀の日本の繁栄と豊かさのもとを作ることができた。

危機の時代のリーダーこそ重要である。平常時のリーダーは、学校の成績が良い人で足りるが、地図にない道を切り開くとき、勇気をもって進むリーダーシップが必要である。現実を直視し、大局を見て座標を定め、長期的な目で方向を決めなければならない。

現在は安倍さんがその人である。安倍さんは、国家観、歴史観、西欧の思想を持ち、和魂洋才の人である。熱きところ、清きところ、直きところを持つ人である。過去に傷のない国は存在しない。今日と明日を見ていけばいい。核兵器は抑止力であり、戦争が起こらないための安全の保障である。アメリカとの同盟は日米関係をよくするもの。TTP は日本の経済発展と平和を守るために必要である。憲法解釈は合理性のある解釈なら時代によって変わってもよい。国家がいのちであり、憲法は手足である。

このようなことを話されました。

永家 将嗣

12 日の IM はホストクラブが可茂ロータリークラブで会場はシティホテル美濃加茂で行われました。内容としてはクラブ活動状況報告がありました。

「Tsunami ヴァイオリン - 千の音色でつなぐ絆 - プロジェクト」では東日本大震災で被災した奇跡の 1 本松や被災地で暮らす人々の歴史が刻まれた木を材料にヴァイオリンとして蘇らせ世界中の 1000 人のヴァイオリニストたちがリレーのようにヴァイオリンを受け継ぎながら演奏していくというプロジェクトで募金もしました。

この企画は当クラブの島さんが可茂 RC の藤吉会長に頼まれた今回実現したプロジェクトです。

18 日の地区大会はホストクラブが多治見西ロータリークラブで会場は岐阜グランドホテルで行われました。当クラブは 4 つの RI 表彰「RI 会長賞」「会員増強拡大賞」「意義ある業績賞」「ロータリークラブ・セントラル賞」を受賞しました。

基調講演は国際ロータリー研修リーダー（釧路ロータリークラブ）の小船井修一講師が「シェルドンから学ぶロータリーの活性化」と題してお話しされました。「もっともよく奉仕するものももっともよく報われる」というロータリー

の理念について具体的なお話しをされました。またお話の中で RI 理事は自分が選出されたゾーンにおいて RI 戦略計画の実行を監督するという印象的でした。

濃飛グループ IM

日にち：2014. 10. 12（日）
会 場：シティホテル美濃加茂



地区大会

日にち：2014. 10. 18（土）～19（日）
会 場：岐阜グランドホテル



<ニコニコBOX>

12日はIM、18日19日は地区大会と忙しい一週間でしたがご参加下さいました会員の皆様には誠にありがとうございました。また、不手際の高原という幹事で大変ご迷惑お掛け致しましたことをお詫び申し上げます。

理事役員一同

先日は、はぐるま会BB賞を頂きありがとうございました。

永田 富次

誕生日の花をありがとうございました。 和田 良博

皆さんで阪神タイガーズ日本一を祈願しましょう。 周 信夫

久しぶりの例会ですが早退致します。ごめんなさい。 前越 路子